

地域に根ざした教育環境づくりと地域で子供を育てる態勢づくり!

広島県廿日市市

活動名

大野東小学校学校支援地域本部

関係する学校

大野東小学校

活動区分	※H25年度の実績 (補助の有無についてはH26年度の状況)			
	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
土曜日の教育活動				
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	12人	70人	23年度	無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	10人	60日	無
コミュニティ・スクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	指定日	委員数	20年度	無
			児童生徒数	学級数

活動の概要

大野東小学校学校支援地域本部（愛称：大野東っ子応援団）は、地域に根ざした教育環境づくりを、学校教育の場での「支援」といった形で具現化し、教員や地域の大人が子供と向き合う時間の拡充と地域の子供たちは地域で育てる態勢づくりの強化を目指すものである。大野地域において長年培ってきた学校・地域の信頼関係をもとに、お互いの願いや課題、情報の交換・共有を行い、相互が双方向に受けとめ合える事業を展開していく。未来を担う子供たちにとって「誇れる学校」と「誇れる地域」が持てるよう、子供たちと地域との交流や話し合いの場を持ち、地域の教育力が日ごろから発揮できるように学校内に地域の居場所を確保している。また常に子供たちの事業参画を軸とし、子供たちが「達成感」「役立ち感」を獲得できる事業運営を行っている。

平成23年12月の発足以来、安定した本部事業を継続しており、支援の主なもの学習支援及び安全確保である。推進にあたっては校区を構成する4区域の行政区長の合意形成があり、円滑に行われている。学校支援ボランティアの活動量も年々増加しており、大規模校であるが、支援対象も全学級に及んでいる。

特徴

【特徴的な活動内容】

○学習支援

・読み聞かせは毎週全学級で実施している。書写や家庭科の実技科目の支援についても、多数の学校支援ボランティアが参加しており、指導の徹底をサポートしている。またボランティアの心得を大切にし、笑顔、挨拶、声かけを励行し、児童との絆を深めるとともに、定期的に教職員と学校支援ボランティアの交流会を実施し、相互理解に努めている。

○放課後はつかいち寺子屋塾（放課後子供教室）

・平成20年度より継続して取り組んできており、質の高い活動を実施している。
・今年度より学校支援地域本部に組み込む形で実施しており、情報の共有及び学校支援ボランティア間の連携の強化を図っている。

【実施に当たっての工夫】

○コーディネーター会議を毎月1回開催

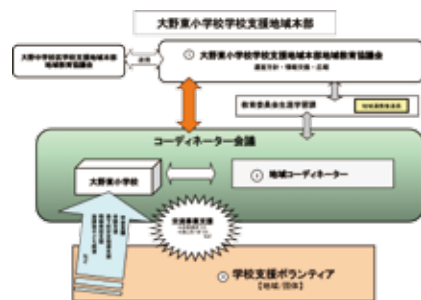
・学校からの支援依頼を地域コーディネーターが調整し、円滑に支援活動が行えるよう協議をしている。また学校からの積極的な事業の広報（校長挨拶、学校だより、通信等）及びボランティアルームの整備（出入りが容易）を充実し、活動のさらなる活性化を図っている。

○見守り隊会議

・隣接する校区である大野西小学校で同様に実施している放課後はつかいち寺子屋塾の見守り隊と連携し、情報共有・調整のための会議を毎月1回開催している。

○みらい行事カレンダー

・年末に次年度に向けて地域と学校が協力し、1年間の行事予定を取りまとめたカレンダーを発行している。地域行事と学校行事の重複を防ぐことで相互の参加を促進しており、また行事予定の広報としての役割も担っている。



大野東小学校学校支援地域本部 組織図



朝の読み聞かせボランティアの様子

事業を実施して

平成25年度に実施したアンケートでは、地域からは「この活動に参加することによって生活に活気が出て、地域に参加している感が大いにある」、学校からは「地域の方とふれあう機会であり、学校の中でそういった機会があることに意味がある」といった肯定的な意見が多数出しており、双方向の取組を実現できていることが伺えた。また子供を通して家庭と地域のつながりも確実に強まっており、学校、家庭、地域をつなぐための仕組みを効果的に機能させている本部である。子供のためにという共通の想いにより、学校、家庭、地域がそれぞれに良い影響を与え合う活動ができている。

その他

放課後はつかいち寺子屋塾の取組が非常に充実している。実施母体となっている見守り隊は大野西小学校でも活動しており、毎週2日ずつ大野東・西小学校にて活動している。活動内容は箸の正しい使い方や裁縫、昔遊び、宿題等と多岐にわたっており、子供たちが基本的な生活習慣を身につけながら、友だちと交流したり、自主的に色々な活動をしたりする場となることを目的として活動している。